第 2013-33 号

恵みと真理のニュース

2013 年 10 月の一次　恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　突然な負傷で諦めた国家体表選手の夢、ここにも神様の御心と摂理がありました。

恵みと真理教会の青年部で出会って夫婦になった親から 1987 年私が生まれました。自然に子供の時か今まで私達の教会で当会長牧師の恵みのメセージを聞いて神様の大きい愛を感じながら育ちました。
私が生まれる頃からテコンド場を運営した父の影響を受け私は小さいときからテコンドを習って、素質があって小学校 4 年生の時本格的にテコンド選手生活を始めました。市、都、及び全国規模の大会へ出展する度に入賞をもらって選手を養成する中学校に入学してもっと実力が向上になり全国大会ではいつも上位権で入賞しました。いろんな上級学校のスカウトの申し出を断って体育高等学校と体育大学に特技奨学生として進学して神様の恵みに感謝しながら学びと訓練に集中しました。
神様はいつも私と共におられました。試合に出ると同じ体級の他の選手より私の背が低くって私よりはるかに高い相手と戦わないといけない畏れがありましたがそのたびに神様は“恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。”
（イザヤ４１：１０）この御言葉で私に力と勇気をくださいました。
そして　コートの上に立つと全ての恐れはなくなり“だが、ダビデもこのペリシテ人に言った。「お前は剣や槍や投げ槍でわたしに向かって来るが、わたしはお前が挑戦したイスラエルの戦列の神、万軍の主の名によってお前に立ち向かう。”　ダビデの心のになり神様に委ね大胆に戦って勝利しました。
練習と訓練がとても大変で競技ことに瞬間瞬間言葉で表現できない緊張の連続でしたから私は御言葉と聖霊の恵みで神様の慰めと平和を感じ祈って答えられる礼拝が切実でした。
しかし、地方で行なう試合は日曜日に行なう時が多くてたまに礼拝を捧げない事がとても切なかったです。仕方なく宿所でまたはインタネットが出来る所を捜してインタネットを通して教会の礼拝を捧げ少し心の切なさが解決できました。
これも出来ない遠い地方で大会が行なうと近い教会に行って主日の礼拝を捧げるように努力しました。しかし、子供の時から私達の教会で礼拝し当会長牧師を通してくださる神様の御言葉で養育されたので他の教会で礼拝すると大きい恵みと感動を受けない時も多かったです。
たまには、異端の教会もありました。それで、“神様、私に分別霊の恵みをくださって御言葉の恵みと真理で満たされている教会に導いてください！”祈りすると聖霊神様は私の祈りを聞いてくださって私の足元を導いてくださいました。
大学に入った後、国家体表選手の夢を抱いて頑張って運動をしました。しかし、残念ながらオリンピック選手の先発前を目に前にして訓練中にひざに大きい怪我をしてしまいその夢を諦めるしかなかったです。
始めはとても驚いて苦痛で少しあいだ挫折して神様を恨む心が出来ましたが涙を流しながら祈りする時“あなたは私に祈る事が出来るのになぜ落胆して挫折するのか？”主の声を聞きました。
突然な負傷で体表選手の夢が挫折したがこのようになった事も必ず神様の御心と摂理があると信仰の考えを持ちました。今まで真実に私の道を導いてくださった神様を仰ぎ神様の御心を求めながら続けて祈りました。
神様は私のような運動選手を専門的に治療するリハビリのスポーツ医学の道で私を導きました。その分野で無知であった私に関連協会と私達の最高の教授達に出会えさせ短い時間にその分野で認定を受ける実力を持つように導いてくださいました。
そして、有名なプロスポーツ球団と国家体表チームなどリハビリトレーナーに担ってまた関連協会でチーム長として人たちを教育する名誉とやりがいも得るようにしてくださいました。私の考えと力ではどうしても夢も見ない驚いて奇異な方法で摂理し行なった神様の恵みでした。
そうするうちに思わなかった軍隊に行かなければならない状況でした。関連協会の役人の助けで推薦され軍隊体育部隊に入隊してそこの運動治療室を担当する計画でしたが、これは私の考えでした。神様の御心ではなかったです。私の計画がなくなってしまい私は茫然自失しました。
しかし、聖霊様はすぐ　“神様、私の願いではなくただ神様の御心の通りにしてください！”このように神様に祈りました。すると驚くことが起きました。大統領部の警備と警護を担えている機関で服務しながらその機関でリハビリ治療室を運営する道を神様が開いてくださったのです。もっと感謝し栄光する事は私を遣わして礼拝が出来なかった所で福音を伝えながら神様の事を担える恵みを与えてくださったのです。私達の教会の恵と真理のニュースを通してそこでも活発に礼拝を捧げるように導いてくださいました。私がいない今にもそこでは続けて 恵と真理のニュースを通して御言葉が伝えられ福音化の歴史が続けられていてとても嬉しくて感謝です。ハレルヤ！
去年 3 月に兵役義務を良く終えました。他の人より遅く軍隊に入ったから軍隊にいる間入隊の前にやった仕事を軍隊終わった後にも続けて出来るか、もしその仕事を出来ないとどうしようか？心配する時がありました。
その時になると一人で祈りましたが除隊後神様は私の道を開いてくださいました。最近オープンしたスポーツ医学クリニックのリハビリセンタで重要な職分を担って仕事をするようにまた私を導いてくださいました。
神様が私にくださったこの企業と職分を通して私達の教会の目標を成し遂げる事にも参加して献身するようにもっと大きい恵みを与えてくださることを信じます。
私は今軍隊に入る前奉仕した教会学校の幼年部に帰って来て以前よりもっと楽しみと感謝で献身しています。
神様は教師の職分を通して世の生活のそのどんな名誉と楽しみより比較されない神霊な楽しむ祝福を体験し味わうように導いてくださいます。私の過去と現在の全てが大きくて驚く神様の恵みの愛と摂理でした事を信仰で告白します。また明日の人生が他の人にどんな証になるか期待と希望で充満です。真な神様私の主に感謝と賛美と栄光を捧げます。

［信仰コラム］　神（かみ）様（さま）に属（ぞく）した者（もの）に対（たい）する各種（かくしゅ）の称号（しょうごう）

しかし、彼を受けいれた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。（ ヨハネによる福音書1:12、13）

すべての人（ひと）は二（ふた）つの分類（ぶんるい）の一（ひと）つに属（ぞく）します。神（かみ）様（さま）に属（ぞく）した者（もの）とサタンに属（ぞく）した者（もの）、キリストに属（ぞく）する者（もの）と初（はつ）の人（ひと）アダムに属（ぞく）した者（もの）、教会（きょうかい）に属（ぞく）した者（もの）と世界（せかい）に属（ぞく）した者（もの）に分類（ぶんるい）されます。″あなたの永遠（えいえん）の所属（しょぞく）がどこですか?″という質問（しつもん）を受（う）けることになった時（とき）に理解（りかい）ができず、いいよどむことはなくすべきです。、聖書（せいしょ）で神（かみ）様（さま）に属（ぞく）した人（ひと）の身分（みぶん）を示（しめ）す 4 つの名称（めいしょう）を選（えら）んでその名称（めいしょう）が持（も）っている霊（れい）的（てき）な意味（いみ）を見（み）てみます。
第（だい）一（いち）は、’、神（かみ）様（さま）の子供（こども）’という名称（めいしょう）です。
人（ひと）がこの世（よ）の中（なか）に生（い）きている間（あいだ）に経験（けいけん）することらの中（なか）で最（もっと）も神秘（しんぴ）的（てき）な経験（けいけん）は、神（かみ）様（さま）の子供（こども）になる身分（みぶん）の変化（へんか）です。これよりもっと大（おお）きな身分（みぶん）の変化（へんか）はありません。ところで、神（かみ）様（さま）の子供（こども）になる道（みち）は難（むずか）しくないという事実（じじつ）に驚（おどろ）かざるを得（え）ません。条件（じょうけん）は、イエス様（さま）を迎接（げいせつ）することだけです。神（かみ）様（さま）の子供（こども）には聖霊（せいれい）が臨（のぞ）んでいて、霊的（れいてき）なことを思慕（しぼ）するようにしてくれます。神（かみ）様（さま）の子供（こども）たちのために天使（てんし）たちが送（おく）ったことを受（う）けて仕（つか）えています。神（かみ）様（さま）の子供（こども）は永遠（えいえん）に生（い）きることになります。父（ちち）なる神（かみ）が彼（かれ）の子供（こども）にくださる相続（そうぞく）の内容（ないよう）は地上（ちじょう）のどんなことからも十分（じゅうぶん）に説明（せつめい）すべきものがありません。その中（なか）に天国（てんごく）が含（ふく）まれています。キリストと共（とも）に受（う）けの光栄（こうえい）があります。この身分（みぶん）は全能（ぜんのう）の神（かみ）様（さま）がくれた権勢（けんせい）に属（ぞく）するので誰（だれ）も侵犯（しんぱん）したり、取（と）り上（あ）げられません。また、人間（にんげん）の肉体（にくたい）的（てき）身分（みぶん）と行為（こうい）に基（もと）づくものではなくキリストの贖罪（しょくざい）の恩（おん）に与（あた）えられたことであるため、誰（だれ）も讒訴（ざんそ）することはできません。人（ひと）は神（かみ）様（さま）の子供（こども）でなければ悪魔（あくま）の子供（こども）です。鬼（おに）の子供（こども）という言葉（ことば）は悪魔（あくま）に隷属（れいぞく）しているということを意味（いみ）し、悪魔（あくま）とその使者（ししゃ）たちをために予備（よび）のなった永遠（えいえん）の火（ひ）に入（はい）る運命（うんめい）に処（しょ）しているということを意味（いみ）します。
第（だい）二（に）は、’神（かみ）様（さま）の奴’’という名称（めいしょう）です。
奴の身分（みぶん）になるのが好（す）きな人（ひと）はいません。ところで’神（かみ）様（さま）の奴’という名称（めいしょう）は神（かみ）様（さま）を向（む）けた特別（とくべつ）な献身（けんしん）者（しゃ）に対（たい）する称号（しょうごう）として使（つか）われました。神（かみ）様（さま）に属（ぞく）するすべての人（ひと）が神（かみ）様（さま）の奴です。神（かみ）様（さま）の奴という身分（みぶん）は非常（ひじょう）に高貴（こうき）で、光栄（こうえい）なことなのでそこに適切（てきせつ）に行動（こうどう）しなければなりません。神（かみ）様（さま）の種（しゅ）は罪（つみ）で自由（じゆう）を得（え）ました。神（かみ）様（さま）の種（しゅ）は神（かみ）様（さま）を嬉（うれ）しいようにするために生（い）きなければなりません。
第（だい）三（さん）は、’神（かみ）様（さま）の召（め）し使（つか）い’という名称（めいしょう）です。
召（め）し使（つか）いは主人（しゅじん）の食卓（しょくたく）で仕（つか）えること、家庭（かてい）の他（ほか）の種（しゅ）に対（たい）する管理（かんり）、主人（しゅじん）の財産（ざいさん）を管理（かんり）すること等（とう）一般（いっぱん）的（てき）に大（おお）きくて裕福（ゆうふく）な家（いえ）の各種（かくしゅ）業務（ぎょうむ）を調（しら）べる人（ひと）です。召（め）し使（つか）いは自分（じぶん）のものを持（も）って働（はたら）くのではなく、主人（しゅじん）のことを持（も）って仕事（しごと）を処理（しょり）します。神（かみ）様（さま）の召（め）し使（つか）いとして生（い）きている人（ひと）は自分（じぶん）が持（も）っているものと使用（しよう）するすべてのものが神（かみ）様（さま）のものという意識（いしき）が徹底（てってい）しなければなりません。神（かみ）様（さま）の召（め）し使（つか）いに求（もと）められるのは忠誠（ちゅうせい）です。
4 つ目（め）は、’神（かみ）様（さま）の人（ひと）’という名称（めいしょう）です。
’神（かみ）様（さま）の人（ひと）’という名称（めいしょう）はイスラエル初期（しょき）に預言（よげん）者（しゃ）を名指（なざ）ししたりダビデと一緒（いっしょ）に神（かみ）様（さま）と特別（とくべつ）な関係（かんけい）を結（むす）んでいる者（もの）に使用（しよう）されました。新約（しんやく）聖書（せいしょ）では、すべてのキリスト人（にん）に適用（てきよう）しました。神（かみ）様（さま）が選択（せんたく）してイエスキリストの中（なか）で呼（よ）ぶ恩寵（おんちょう）をうけた者（もの）たちが’神（かみ）様（さま）の人（ひと）’です。’神（かみ）様（さま）の人（ひと）’は貪（たん）心（しん）を遠（とお）ざけなければなりません。義と敬虔と信頼（しんらい）と愛（あい）と忍耐（にんたい）と温柔（おんじゅう）を追（お）って行（おこな）わなければなりません。全（ぜん）心（しん）全力（ぜんりょく）して真理（しんり）に対（たい）する信頼（しんらい）、神（かみ）様（さま）を向（む）けた信頼（しんらい）の善良（ぜんりょう）な戦（たたか）いを戦（たたか）わなければなりません。’神（かみ）様（さま）の人（ひと）’は、永生（えいせい）を取（と）らなければなりません。永生（えいせい）による幸福（こうふく）を悟（さと）ってこれを楽（たの）しまなければなりません。試験（しけん）、誘惑（ゆうわく）、患難（かんなん）、逼迫（ひっぱく）によって、永生（えいせい）を喪失（そうしつ）することがないように、永生（えいせい）をすべてのものより貴重（きちょう）なものと考（かんが）え、必（かなら）ず捕（つか）まえなければなりません。
神（かみ）様（さま）に属（ぞく）した者（もの）がなった皆（みんな）さんはこのような称号（しょうごう）に統合（とうごう）した行為（こうい）をしてまた、それによる幸福（こうふく）を享受（きょうじゅ）してください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

特別な機会と立派な選択

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人の一生と死んだ後まで重大な影響を及ぼすのがあります．第一は，“生まれつきの運命”で二番目は，“立派な選択”です．このふたつの中にいずれがもっと大きい影響を及ぼすかを一言で言うことは難しいです．男性なのか女性なのか，生まれた家門，時代，場所は自分が選択して決めることができるのではないです．こんなものなどが各人に及ぶ影響は非常に重大します.イエスキリストがおっしゃったタラント比喩は運命と選択を対照して選択の重大さに対するメッセージを聞かせます．主人が長間の旅に出ながらあるしもべには五つタラントを，他のしもべには二つのタラントを，また他のしもべには一タラントを任せました．彼らには主人から受けたタラントが運命のようなのです．主人が去ると彼らはどのようにするつもりなのかを各々決めました．五つタラントと二つのタラント受けた人はまっすぐに行って商売する方を選びました．一タラント受けた人はそのお金を地に葬ってから主人が帰って来れば返す方を選びました．
長間の後に主人が帰って来て彼らと計算をしました．五つタラントと二つのタラント受けた者は主人が預けたお金とそのお金で商売して残したお金を皆持って来て主人に差し上げました．主人はそのふたり皆を善良で忠誠されたしもべだと誉めたし宴に参加するようにしました．ところで一タラント受けた者は来て言うのを“ご主人さま，私はそのタラントを地に隠しておきました．見てください，ご主人さまの物です．” しました．主人は彼を悪しくて怠けなしもべだと言って外暗い所で追い出しました．運命に属した事は自分が決めることができないがそこに対してどんなに応じることかの選択は自分の分け前です．二人は機会を善用したが一人は機会を失いました．‘運命’という言葉は他に選択する余地がないように与えられたすべての条件たちを包括する用語です．誰も運命を無視してしまうことはできないです．しかし自分の選択によってこのような運命を変えるとか乗り越えることができます．神様が私たちにくださる特別な機会たちがあります．私たちはその機会たちを捕捉して自分の物にしなければなりません．そんなにすれば運命を変化させます．

第一は、イエスキリストを信じることができる機会です．

すべての人は罪人で生まれます．アダムが罪人なので彼の子孫たちは皆罪人で生まれるようになります．これがすなわち人間に与えられる運命です．そして偶像を仕えて神様を逆らって罪を犯しながら生きて行きます．罪の支配の下から脱する方途が人にはないです．宗教，哲学，思想，制度，善行，教育，科学その何も罪にかまけた人間が自由にしてくれないです．ところでこのような罪人たちに罪で自由を得るようになる機会の与えられることが多くの時代に何回も予言されました．

このような予言たちがイエスキリストが世の中へいらっしゃって代りあがないの死を死んで死から復活して成就しました．
**“すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており、
彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。”（ローマ人への手紙　3:23,24）.**
そして罪人たちが罪ことわることを得ることができる機会が提供されました．罪の許しを受ける機会は義人になって永生を得て神様の子になることを含んだ機会です．このような機会は人生に選択を要求する機会です．その選択と言うのはイエスキリストを自分の救主に信じて迎接することを言います．イエスキリストを信じて迎接することには差別がないです．誰でも信じて迎接することができます．人がこの世の中に住むうちに得るようになる最上最高の機会はイエスキリストを信じることができる機会です．人がこの世の中に住む間にできる一番恵まれて立派な選択はイエスキリストを信じて迎接するのです．

二番目は、神様に対して忠誠を現わしたように見えられる機会です．

神様を向けた忠誠は神様を心の中心に仕えて，神様の言葉どおり行うのです．イエス様を心の中心に仕えた人はなによりも神様の言葉を混雑するようにする仕事ができないです．福音を歪曲することを受け入れないです．イエスキリストを信じる信仰外にも救いの道があるというのが福音を歪曲する事です．生まれかわった聖徒はそんな事をしないのみならずそういう事をする人々がキリスト教という名前で行うどんな行事にも加わらないです．
また逼迫にあう時これを神様に対して忠誠を現わしたように見える機会にしなければなりません．ヒーブリ三人の青年サドラック，メサック，アベッヌゴは王の金の神像を除幕する雄大な行事で幾多の人々間に挟まって金の神像に首だけ一度下げれば高い官職を維持することができるし富貴を享受することができました．しかしそうしなかったです．こんな状況を神様に対して忠誠を現わす機会に思いました．
また苦難に会う時これを神様に対して忠誠を現わすように見られる機会です欠乏や苦痛がある時気落ちしないで所望を持って耐えて恨みと不平を言わないで感謝する態度は神様を向けた忠誠された心から始まるのです．使徒パウロは肉体のとげと呼んだつらい問題を持っていました．この刺の問題は運命的な性格を持っていました．彼はこの問題が除去されるのを神様に三度や訴えました．しかし “私の恵みがあなたに充分だこれは私の能力が弱いことから完全になるのだ．” 告げる神様の言葉を聞くようになりました．使徒パウロはその言葉の意味を二つで理解して受け入れました．先には，**“そこで、高慢にならないように、わたしの肉体に一つのとげが与えられた。それは、高慢にならないように、わたしを打つサタンの使なのである。”（コリント人への第二の手紙 12:7）** しました．次では，**“ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。 だから、わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである。”（コリント人への第二の手紙 12:9,10）** しました．すべての事を神様を向けた忠誠を現わす機会にすることは最善の選択です．

このような選択は自分が生まれつきの運命を変えておきます．

三番目は、神様の仕事に力をつくすことができる機会です．

この世の中に住むすべての日々が神様の仕事に力をつくすことができる機会です．福音を伝える事は神様の仕事です．使徒パウロはデーモデに命ずるのを **“御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。”（テモテへの第二の手紙 4:2）** しました．
世の中で私たちができる仕事の中一番偉くて神神しい事が福音を伝える事です．福音は罪ことわることを得るようにする嬉しい消息です．まことらしくて価値のある生を暮すようにする恵まれた消息です．永生を得るようにする言葉です．
また困難にあった者のために祈って助ける事は神様の仕事です．使徒パウロはコリント教会にこんな模範を模範として行うように勧勉しながら **“人に知られていないようであるが、認められ、死にかかっているようであるが、見よ、生きており、懲らしめられているようであるが、殺されず、悲しんでいるようであるが、常に喜んでおり、貧しいようであるが、多くの人を富ませ、何も持たないようであるが、すべての物を持っている。コリントの人々よ。あなたがたに向かってわたしたちの口は開かれており、わたしたちの心は広くなっている。”（コリント人への第二の手紙 9:6～9）** しました．
また教会で奉事することが神様の仕事です． **ガラテヤ人への手紙で 6 章 10 節に“だから、機会のあるごとに、だれに対しても、とくに信仰の仲間に対して、善を行おうではないか”** しました．善良な事をしようと決心すればいくらでもできます．神様の仕事ができる機会がいつもあるのではないです．有用な手段と力がある時使わなければなりません．財物と聡明と力がある時神様の仕事に力をつくさなければなりません．**“だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはないと、あなたがたは知っているからである。“
（コリント人への第一の手紙 15:58）．“見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。”（ヨハネの黙示録 22:12）** しました．

人は一生の間に数え切れなく多くの選択をしながら生きて行きます．しかし概して自分の選択した事が自分が望む結果をもたらすと壮語することができないです．ところで自分が選択して行った事が必ず良い結果をもたらすという神様の保証を受けることができる事があります．そして自分の運命を恵まれて栄え栄えしく変えておくことができる機会たちがあります．第一，イエスキリストを信じることができる機会です．第二，神様に対して忠誠を現わすように見えられる機会です．第三，神様の仕事に力をつくすことができる機会です．聖徒の皆さんは一生を通じてこのような機会たちを捕捉して自分の物で作る立派な選択をなさるようにお願いします．